

1人1台端末を活用した授業改善の取組

帯広市立花園小学校

(取組のポイント)

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、目指す資質・能力を確実に育成することが求められていることから、教員がGIGAスクール構想における1人1台端末をはじめとしたICT機器を効果的に活用し、子どもたち一人一人に個別最適化な学びを提供することができることを目指した取組である。

取組に当たっての課題意識

- 1人1台端末の操作方法をはじめ、クラウドサービスの知識・技術の習得
- 端末の効果的な活用方法の確立による授業改善の推進

課題解決に向けたプロセス

| 具体の取組例 | 事業との関連等 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 端末操作及び活用に関する校内研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスの知識 ・教師機の大型提示装置への接続 ・Google Workspace for Educationの操作演習 ・Google Classroomの構築 ・ストリームや課題の配信、回収 ○ 端末の活用に係る環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・保管庫の整備 ・クラウドサービス（ドリル教材など）のアカウントの整備及び児童・家庭への周知 ○ オンラインを利用した取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・Google Meetの利用方法 ・Zoomの利用方法 ・児童による教室を分けたオンライン学習の試行 ・儀式的行事等における全校配信の方法 ・Google Meetを使った儀式的行事の実施 ・Zoomを主としJamboard、Google Formsを連動させた公開研究会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・帯広市教育委員会による全教員のスタートアップ研修、及びコア研修への参加 ・十勝教育局による端末持ち帰りに関する講習会への参加 ・道教委による授業改善推進チーム全道研修会及び管内や他管の推進チームとの交流会の実施 ・帯広市教育研究所による夏季研修での端末活用の実践事例やタブレット活用講座への参加 |



【オンライン授業の試行】

取組の成果

- 1人1台端末の活用方法を理解し、積極的に授業で活用するようになった。
- オンライン授業や配信による儀式的行事等の開催など、オンラインで行う取組の有効性について教職員の理解が進んだ。